学校番号	3030

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学記述演習	単位数	（ ３ ）単位	年次	（ ３ ）年次
使用教科書							
副教材等	オリジナル教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、問題を解くための思考力・判断力と並行して、思考を正しく表現する力（記述力）の向上をめざします。
・数学にはいろいろな公式があります。その使い方だけではなく、その公式を導けるようにすることにより公式の意味を理解することも大切にしてください。
・復習を大切にしてください。授業で理解できなかった事項や解けなかった問題をそのままにせず、必ず解決してから、次の授業に臨むようにしてください。
・毎回の授業や単元の終わりには副教材を利用した課題が出るので、必ず自分で解いてください。その際、途中式や考えを書くようにし、ただの○×つけに終わらないようにしてください。また、問題を解く際には他者に見せることを意識した解答作成を心掛けてください。

２　学習の到達目標

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学Cの各単元の内容を関連づけて捉え、多種多様な観点から、問題解決するために必要な基礎的な能力を養成する。
思考・判断したことを正しく表現する力を養成する。
身近な事象にも、積極的に数学を活用しようとする態度を養う。

３　学習評価の観点とその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数理的に考察し処理することのよさや既習事項などを体系的に整理し活用できている。 ・数学的知識の意味を考え、それをいろいろな問題に応用できている。	・数学的な見方や考え方のよさを認識することができている。 ・自らの知識をより一般化し、数学的な本質を理解しようとしている。 ・数学的な見方や考え方を生かし問題を解決したり判断することができる。 ・数学的な課題を既習事項や公理・定義等を基にして明確に表現することができている。	・多面的にものを見たり、いろいろな理論に触れたり、試行錯誤をしながら考えたりして、数学的な見方や考え方のよさを主体的に学ぼうとしている。 ・身近な事象にも、積極的に数学を活用しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数と式 / 2次関数	・数と式 ・2次関数のグラフ、最大・最小 ・2次方程式・不等式	a:数式および関数を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。数式および関数と方程式・不等式に関する汎用的な性質を理解し、知識を身につけている。 b:数式および関数を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数式および関数と方程式・不等式に関する見方や考え方を身につけている。また、思考・判断したことを正しく表現する力を身につけている。 c:提出物や小テストに対して積極的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 パフォーマンス課題	提出物 小テスト 観察
	式と証明/論理	・集合と論証 ・多項式の除法、恒等式、二項定理 ・等式・不等式の照明 ・複素数と2次方程式 ・剰余の定理、高次方程式	a:二項定理を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 等式・不等式に関する汎用的な性質を理解し、知識を身につけている。 b:集合の考えを用いて事象を考察し表現したり、論証したりする力を身につけている。 c:提出物や小テストに対して積極的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 パフォーマンス課題	提出物 小テスト 観察
	図形の性質 / 三角比	・三角形と比 ・円の性質 ・三角比と図形の計量 ・空間図形の計量	a:図形の性質および三角比を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 図形の性質および三角比に関する汎用的な性質を理解し、知識を身につけている。 b:図形の性質および三角比を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、図形に関する見方や考え方を身につけている。また、思考・判断したことを正しく表現する力を身につけている。 c:提出物や小テストに対して積極的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 パフォーマンス課題	提出物 小テスト 観察
	図形と方程式	・点、直線、放物線 ・円 ・軌跡 ・領域	a:数式を用いて図形の性質について表現・処理する技能を身につけている。 図形と式に関する汎用的な性質を理解し、知識を身につけている。 b:数式を用いて図形について考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、図形と式に関する見方や考え方を身につけている。また、思考・判断したことを正しく表現する力を身につけている。 c:提出物や小テストに対して積極的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 パフォーマンス課題	提出物 小テスト 観察
	場合の数と確率	・場合の数と順列 ・組み合わせ ・確率 ・反復試行の確率、条件付き確率、期待値	a:場合の数・確率に関する汎用的な性質を理解し、知識を身につけている。 b:場合の数・確率に関する見方や考え方を身につけている。また、思考・判断したことを正しく表現する力を身につけている。 c:提出物や小テストに対して積極的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 パフォーマンス課題	提出物 小テスト 観察
	整数の性質	・約数・倍数、剰余類 ・不定方程式、整数の性質の活用	a:整数に関する汎用的な性質を理解し、知識を身につけている。 b:整数に関する見方や考え方を身につけている。また、思考・判断したことを正しく表現する力を身につけている。 c:提出物や小テストに対して積極的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 パフォーマンス課題	提出物 小テスト 観察

後期	三角・指数・対数関数	・三角比と三角形 ・図形と計量 ・三角関数(1) ・三角関数(2) ・指数・対数の計算 ・指数・対数の種々の問題	a:三角関数・指数関数・対数関数を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 三角関数・指数関数・対数関数に関する汎用的な性質を理解し、知識を身につけている。 b:三角関数・指数関数・対数関数を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、三角関数・指数関数・対数関数に関する見方や考え方を身につけている。また、思考・判断したことを正しく表現する力を身につけている。 c:提出物や小テストに対して積極的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 パフォーマンス課題	提出物 小テスト 観察
	微分法・積分法	・導関数、接線 ・関数の増減・極値 ・最大・最小（微分法） ・方程式・不等式への応用 ・積分の計算 ・定積分で表された関数 ・面積(1) ・面積(2)	a:微分法・積分法を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 微分法・積分法に関する汎用的な性質を理解し、知識を身につけている。 b:微分法・積分法を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、微分法・積分法に関する見方や考え方を身につけている。また、思考・判断したことを正しく表現する力を身につけている。 c:提出物や小テストに対して積極的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 パフォーマンス課題	提出物 小テスト 観察
	数列	・等差数列・等比数列 ・種々の数列 ・漸化式と数列 ・数学的帰納法 ・数列の応用	a:数列を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 数列に関する汎用的な性質を理解し、知識を身につけている。 b:数列を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数列に関する見方や考え方を身につけている。また、思考・判断したことを正しく表現する力を身につけている。 c:提出物や小テストに対して積極的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 パフォーマンス課題	提出物 小テスト 観察
	ベクトル	・ベクトルの基本 ・ベクトルと内積 ・ベクトルと平面図形(1) ・ベクトルと平面図形(2) ・ベクトルと空間図形	a:ベクトルを用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 ベクトルに関する汎用的な性質を理解し、知識を身につけている。 b:ベクトルを用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、ベクトルに関する見方や考え方を身につけている。また、思考・判断したことを正しく表現する力を身につけている。 c:提出物や小テストに対して積極的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 パフォーマンス課題	提出物 小テスト 観察

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

※学習到達の目安

進研模試での平均偏差値60以上をキープする。

